

**各地域職域同窓会の良さを体感!**

●西部浦高会創立 20 周年記念事業に参加して!

昨日は午後 1 時から「西部浦高会創立 20 周年記念総会、講演会、ミニコンサート、懇親会」が川越プリンスホテルにて行われ、私も春日部地区浦高会会長という立場で参加させていただきました。

浦高同窓会では、同窓会の活性化を図るために地域や職域を中心とした身近な同窓会活動が大切であるとの趣旨のもとに、現在 29 の地域職域同窓会があります。埼玉県内はもとより、東京、湘南、関西、九州等の地域同窓会、さらに県庁や霞が関、金融や商社などの職域同窓会が活動しています。

そうした中の一つが、昨日、20 周年記念事業を滞りなく済まされた西部浦高会(戸口晋会長)です。会の特徴をホームページからご紹介しますと、「西部浦高会は荒川の西岸、川越・所沢を中心に 700 名を超える同窓生が活躍する広い地域、行政の西部エリアを範囲対象とする地域支部同窓会です。地域内に「浦高百年の森」を擁しているため「浦高百年の森と共に歩む西部浦高会」というスローガンを掲げて浦高および浦高同窓会の未来を担う事業を展開しております。また、毎年 8 月に開催される総会・記念講演と懇親会および「西部浦高会通信」や、ホームページで、会員相互の親交を深めています。」とあります。

西部浦高会では先代会長の西澤堅様に大変お世話になり、久喜麗和会との合同企画として 2013 年 4 月に開催した「春のバス小旅行『川越の桜と歴史・文化を楽しむ』」で歴史文化と食を堪能させていただきました。『喫茶去/92 号~96 号』また、個人的にも 2015 年に「川越まつり」をご案内いただきました。

さて、昨日は午後 1 時から約 20 分間で総会が執り行われて、24 名の会員の皆さんと白倉克之浦高校長先生、野辺博浦高同窓会会長以下 16 名の来賓の方々が参加され、2023~2024 年度活動報告・活動計画案、2023~24 年度会計報告・予算案、役員改選案などが満場一致で可決されました。[写真: 総会前の会場の様子]



総会後は、一般市民の皆様も参加されての「創立 20 周年記念講演会&コンサート」に移りました。170 名ほどが入るホールが満席になる賑わいで、最初に、宇宙麗和会会長で元特許庁長官の小宮義則さん〔高 31〕による「宇宙政策の展開 ~宇宙安全保障と宇宙民生利用」のご講演でした。映画等では夢や希望が広がる世界なのですが、ご講演を伺い、国と国との対立があると物騒な世界であるということが分かりました。それらを踏まえて宇宙利用が展開されるのですね。

**出演者のプロフィール**

<p><b>小宮 義則氏</b> 宇宙産科会長 1979年埼玉県浦高高校を卒業。1984年、東京大学経済学部を卒業。同年浦高卒業生(現 経済産業省)入省。2001年~2004年、経済産業省政策局財政局政策室長として宮城極秘防衛の刑事調査、国家戦略的産業政策などを推進。製造産業局産業政策室長(ロボット産業室長兼任)、大臣秘書官 事務取扱などを経て、2008年~2010年、内閣官房内閣参事官(副長官補佐)として 2 回に亘り IT 基本法に基づく IT 戦略の改定を推進。資源エネルギー庁長官官邸総合政策課長などを経て、2014年~2016年、内閣府大臣官房宇宙推進官(後、内閣府宇宙推進官兼衛星推進局長)として宇宙基本法制定の推進、宇宙活動法制定の推進などを担当。2016年 11 月 1 日、執行役員 資源・エネルギー・環境事業部長兼衛星推進局長を経て、2020 年 10 月 1 日、執行役員 マグネティック技術部長に就任。2024 年 4 月 1 日、執行役員 エグゼクティブアドバイザー(兼任)、同年 6 月、カーライル・ジャパン LLC シニアアドバイザー(兼任)にそれぞれ就任。</p>	<p><b>登川直穂子氏</b> ソプラノ 国立音楽大学、東京芸術大学、二期会研修所にて学ぶ。オペラ彩「嵐笛」でオペラデビュー。2006 年よりロンドン、パリ、プラハ、モスクワなどヨーロッパで活動。2009 年、ローマでの初舞台。2010 年、新劇 4 社「闘雲」の初舞台。2010 年、ロンドンでの「羅密欧とジュリエット」の主演。2011 年、ミラノで「オラフェロ」の主演。2012 年、イタリアで「オラフェロ」の主演。2013 年、東京で「オラフェロ」の主演。2014 年、東京で「オラフェロ」の主演。2015 年、東京で「オラフェロ」の主演。2016 年、東京で「オラフェロ」の主演。2017 年、東京で「オラフェロ」の主演。2018 年、東京で「オラフェロ」の主演。2019 年、東京で「オラフェロ」の主演。2020 年、東京で「オラフェロ」の主演。2021 年、東京で「オラフェロ」の主演。2022 年、東京で「オラフェロ」の主演。2023 年、東京で「オラフェロ」の主演。2024 年、東京で「オラフェロ」の主演。</p>	<p><b>渡辺 克也氏</b> オーボエ 埼玉県立浦高高校を経て東京藝術大学。在学中に新日本フィルに入団。90 年日本打楽器コンクール・オーボエ部門で優勝し大賞を受賞。91 年よりドイツに渡り、ヴァンターブル管、カールスルーエ州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ歌劇場の首席奏者を歴任。現在はソリス・ヨーロッパ・ルクセンブルクの首席奏者を務める。ソリスとしてもこれまでハンガリー放送管、ザレムブルク、スロヴァキア・フィル、ヴァンターブル管、都立音楽院、群馬県立音楽院、名取音楽院、日本フィル、東京交響楽団他と共演。2010 年秋より 2013 年 3 月まで、産経新聞にて「渡辺克也のベルリン音楽旅行」を連載。現在「ユウキ」にて「オーボエ吹きの手」を連載中。2011 年、第 28 回日本打楽器コンクール・オーボエ部門の審査委員を務める。法廷音楽家・音楽家事務局長を務める。ベルリン在住。 http://www.katsuyawatanae.com</p>
--	---	---



**西部浦高会とは**  
浦高同窓会の地域同窓会のひとつで、荒川以西に広がる圏域に浦高百年の森を有し、「浦高百年の森と共に歩む西部浦高会」を標榜しています。2004 年 9 月に創設し、今年で丁度 20 歳のいわば成人式を迎えます。小江川村を中心に活動する西部浦高会、情報発信の頻度と量に同窓会本部のそれに匹敵すると自負しており、2008 年に開設した IP を日々維持拡充し、年間を通してイベントも多数、他地域も含め積極的に地域間交流も盛んです。西部地域のみなさん、同窓会全体の活性化にいかにお力添えいただけるかを、常に念頭に置いて活動しており、その二十年の軌程を、今回の記念事業に是非是非を込めて実施して下さい。

**西部浦高会創立 20 周年記念誌『対岸より』**  
DX(デジタルトランスフォーメーション)・脱炭素と SDGs、時代の最先端をゆく企画です。従来の紙媒体による冊子発行の代わりに、Web プラットフォームに 20 周年記念誌を掲載しています。掲載された文を読んで随分と感動された。誰かが自己増殖を掲げており、西部浦高会会員に限らず、貴方も是非一挙お寄せください。

ミニコンサートは、地元のソプラノ歌手・登川直穂子さんによる歌唱と、ドイツ在住のオーボエ奏者・渡辺克也さん〔高 37〕による演奏でした。モリコーネの「ネッラ・ファンタジア」、グリエールの「シャンソン Op.35-3」、渡辺さんにしか吹くことのできないというモンティの「チャルダッシュ」と楽しませていただき、最後はお二人で「浜辺の歌」でした。午後 4 時半からは懇親会で喉と胃袋を堪能させていただきました。最後は「浦高校歌」で締めました。

これまでは、なかなか他地域職域同窓会に出席させていただくことがなく、私どもの春日部地区浦高会との違いを考えることがありませんでしたが、昨年 11 月の「大宮浦高会創立 45 周年記念総会」、今年 3 月の「第 50 回記念 久喜麗和会 田園文化都市研究会・講演会」などに参加して大いに学ばせていただいております。今回も WEB による記念誌『対岸より』は素晴らしい作品で大いに勉強になりました。感謝!